

基本方針 完成あと一歩

いしかわ総文第3回生徒準備委員会



第3回 石川県総文 生徒準備委員会

発行
石川県高等学校文化連盟
新聞専門部

時間をかけ粘り強く討論

10月27日、リファールで全国総合文化祭いしかわ大会に向け第3回生徒準備委員会が行われた。今回は大会基本方針の決定に向け、各文化部から集った代表生徒が長時間に渡って議論を行った。



前回は作成された基本方針についてより詳細に話し合い、修正を加えた。議論には講師の井口時次郎先生も

参加しているが、大人はあくまでファシリテーター役に留まり、発言や議論の主体は生徒である。

班別になり話し合う準備委員の生徒たち リファール内会議室

大会基本方針原案（会議終了時点）

加賀が抱く華やかさと、能登が抱くあたたかさが調和する地、石川。この土地柄にならい、住むところも専門分野も違う全国の高校生が、手を取り合い団結する「文化の祭典」をここに開催します。

石川では、これまで忍耐強く文化が受け継がれてきました。その姿勢のように、今まで積み重ねてきた努力の証を一人一人が継承し、多様な魅力で彩る総文祭を目指します。



真剣な面持ちで意見を発表する金沢辰巳丘高校の半田さん

県庁提出前にさらなる改善要求

単には決まらず、意見を交換した後、2つの班に分かれて文章を練りなおし、全員が苦労して基本方針をよりよいものに仕上げた。全員が納得することを重視して多数決では決定しないと宣言し、真剣に話し合い文章を修正しており、生徒の総文に対する熱い姿勢が汲み取れた。金沢辰巳丘高校の半田優子さんは「今日はいつもと違い、自分達で案を出して決定し、作り上げる感覚があった」と語った。

生徒自己紹介

石川の良いところ伝えたい

午後4時頃に生徒側による修正が完了した。しかし、教育委員会の担当者として生徒準備委員会に参加している六田雄介さんから「さらに素晴らしい内容にできないか再考をお願いしたい」と指摘があった。例えば、他県の人は加賀に「華やかさ」を感じているか疑問であり、内輪的であること、「忍耐」という言葉が持つマイナスのニュアンスが問題であることなど、表現方法に改善の余地があるとされた。「基本方針は大会の憲法とも言える重要な部分だ。内容はホームページやパンフレット等を通じて一般の方にも公開され、高校生が作ったものとは見てもらえない。県庁の会議に諮る前にできるだけのことはやってほしい」

と六田さんは生徒らに要望した。原案の再修正は会議後にオンライン上でを行い、最終案を決めることになった。

今後は、決定した原案が県庁の委員会に送られて正式に承認される。今回は総文に対する3つのキーワードの他、大会の愛称やイメージカラーを作成する予定となっている。



橋本夢奈さん
輪島高等学校
郷土芸能専門部
奥能登からの意見も出せればと感じ参加した。結果的に頑張ったよかったと思える総文にしたい。



上田千尋さん
小松高等学校
自然科学専門部
理科の先生に参加を促され参加した。みんなが文化に触れて楽しめる総文にしたい。



新田大悟さん
小松市立高等学校
吟詠剣詩舞専門部
今まで様々な人と交流する機会がなく、いい機会だと感じ参加した。来てくれた人が笑顔になるような総文にしたい。



直江大和さん
県立工業高等学校
放送専門部
大きい大会に関わることで人生にいい経験になりそうだと思いついた。石川県は良いところだったと楽しく友達や家族に話してもらえる総文にしたい。



小川莉央さん
金沢龍谷高等学校
日本音楽専門部
今年度の鹿兒島総文に琴で出場した。総文が石川県でも開催されると聞いて興味湧き、参加した。今回は金沢らしいものを取り入れつつ、様々なものを協調できるようにしたい。

編集後記

今回のあすなるでは、前回に引き続き4年後のいしかわ総文に向けて計画を立てている生徒準備委員会の

第3回を取材し、野々市明倫高校新聞部が制作しました。全員が積極的且つ情熱的に参加しており、感銘をうけました。4年も先のことに對して今から活動を開始していることに驚きで

す。今回の取材にご協力いただいた皆様、ありがとうございました。《編集委員》
横川幸祐
山際晴暉（野々市明倫）